

平成26年度第2回愛知県環境審議会会議録

1 日時

平成26年11月26日（水）午前10時～午前10時45分

2 場所

愛知県議会議事堂 5階 大会議室

3 出席者

委員22名、森岡副知事、説明のために出席した環境部職員23名

4 審議の概要

(1) 開会

委員30名中22名が出席しており、定足数を満たしていることを確認

(2) あいさつ

森岡副知事

(3) 議事

ア 会長の選出（仮議長 吉久光一委員）

田中剛委員から青木清委員の推薦があった。

他に候補者はなく、全会一致で青木委員が会長に選出された。

イ 会長あいさつ

ウ 傍聴人について

青木会長が、傍聴人がなかったことを報告した。

エ 会議録の署名について

青木会長が、会議録の署名人として、井村委員及び織田委員を指名した。

オ 会長代理の指名

青木会長が大東委員を会長代理に指名した。

カ 専門部会の構成と部会長

青木会長が各専門部会を構成する委員、専門委員及び特別委員並びに各専門部会の部会長を指名した。

キ 諮問

諮問事項「指定希少野生動植物種の指定について」、事務局から説明を受けた。

この諮問事項については、青木会長が自然環境保全部会に付託した。

○質疑応答（要旨）

（田中委員）

細かいことですが、この時点でわかることであれば教えていただきたい。それぞれの指定希少種の選定理由に「生息又は生育の環境が著しく悪化しつつある」とあるが、この環境というのは、酸性雨や温暖化とか、ほこりがでてくるかとか、食する動物があるとか、この植物のみを食する虫がいるとか、どのようなことか。

（事務局）

キンセイランにつきましては、人が散策する道に非常に近く、踏み荒らし等による環境の悪化が懸念される場所です。また、エンシュウツリフネにつきましては、シカの食害ということで、悪化しているということもありますが、こちらについても、一般の方が通る散策路に近いということから、踏み荒らしによる環境の悪化が懸念される場所です。

ク 報告

「伊良湖休暇村公園（いらごさららパーク）について」、事務局から報告を受けた。

○ 質疑応答（要旨）

（井村委員）

天地返しという方法は有効性が確認されている方法か。

（事務局）

砂丘とオアシスの再生という事業自体が全国初の取組ですので、天地返しも検証をしながら進めているところであります。

（事務局）

補足させていただきますが、工法自体は下の土を上層に持ってくるという単純な工法ですので、このあたりは、埋土種子の発芽だとか、表層の外来種の封じ込めは確実にできるものだと考えています。

そして、この規模で、この地域特有の植生の復活というものは初めての取組となります。

また、現在の状況としましては、実際にはハマヒルガオとかチガヤとか、海浜性の植生が復元しつつあるところではあります。今後も、植生の状況をしっかりと確認していきたいと考えています。

（岡村委員）

この辺りは、戦後、入植者の方々が大変苦勞されて、畑を作っては砂で封じ込められてきた。そのため、柵をどのように作るのか、いろいろと苦勞されて今の緑豊かな地域がある。

砂に戻すというのは悪くはないと思うが、そのあたりの苦勞して作り上げてき

た現在の状態が残されるのかお聞きしたい。

(事務局)

この公園エリアは全体で50ha弱の大変広い面積に及んでおります。そのほとんどが防砂林になっています。ここは防砂林として今後も保全をしていきます。今、再生事業を行っている5haは、もともと昭和40年代に観光を目的としまして屋外のプールや外来種の植物を植えておりました、これを元々あった海浜性植物や砂丘として再生していこうというものです。そのため、原風景にあった砂丘とオアシス、その周辺の苦勞して植栽した防砂林の両方の景観が保全されるという計画です。

(浜口委員)

大変楽しそうな公園のイメージが膨らんできたが、来年度、愛知県で全国都市緑化フェアという全国規模のイベントが開催される。私もメイン会場のモリコロパークの中で活動しているので、情報が入ってくるが、このいらごさらパークが来年度どのような形で整備されていくのか。せっかくの希少種の話なども、全国の方々に見ていただけるいい機会であり、この施設が来年度の緑化フェアに協力されるのか伺いたい。

(事務局)

緑化フェアについては、サテライト会場として手をあげているところです。今後の整備につきましては、現在1ha位が整備済みですが、今後も引き続き希少種エリアや天地返し of 工事を行い園地の整備を進めていきます。

(4) 閉会

以上

愛知県環境審議会委員 井村秀文

愛知県環境審議会委員 織田銑一